

カレッジ里山 花実の森 活動報告(2017年9月) 第87号

活動日	時間	天候	記録者
2017年9月5日(火)	10:30~12:00 (里山G活動時)	(晴)	(菅田)
2017年9月8日(火)	9:30~12:00 (緊急活動)	(曇り)	
2017年9月14日(木)	9:30~12:00	(晴)	
2017年9月19日(火)	9:30~12:00 (臨時活動)	(晴)	
2017年9月27日(水)	9:30~12:00	(曇り)	

参加者氏名 (1名+7名+ 11名+3名+ 11名)	(9月5日) 菅田忠志
	(9月8日) 松本治美、山田喜義、米倉進、水島康夫、磯野彰夫、菅田忠志、俵貴志子
	(9月14日) 松本治美、山田喜義、磯野彰夫、清水英暢、菅田忠志、黒子兵吾、 水島康夫、丸井宣夫、米倉進、俵貴志子、橋野美子、
	(9月19日) 菅田忠志、山田喜義、松本治美
	(9月27日) 菅田忠志、田路義弘、米倉進、松本治美、山田喜義、南木久枝、 塩ノ谷年子、水島康夫、俵貴志子、橋野美子、清水英暢

今回実施した 作業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>9月5日の里山G活動日に、「カブトムシ観察小屋周辺で数本のナラ枯れ木発見」の報告を受け急ぎ確認に向く。</li> <li>9月8日、上記現象の花実の森内の拡散具合を緊急の実態調査を実施。対象木に黄色テープを巻きつけ。 観察小屋周辺・・・9本 花実の森入り口周辺・・・19本を確認 地図に位置を記入し、緑地運営課へ報告、今後の処置につき依頼。</li> <li>9月14日は観察小屋の残作業(木部の防錆塗装など)の実施、及び7月に終えた「カブトムシ観察会②成虫探し」時の活動跡の囲い作業。(今年孵化した幼虫の確認もできた)</li> <li>9月19日は、27日に実施する「栗の苗木植樹」の事前作業として数人に呼びかけ、4株分の穴掘り作業、植樹部への散水パイプ設置作業を実施。</li> <li>9月27日、栗の苗木4株の植樹。テーブル・椅子置場の椅子高さ掘り込み作業も実施した。</li> </ol>
----------------	---

写真説明

(9月5日)



(例木2)  
浸食穴から掻き出して根元に溜った食べかすの木くず。



(例木1)  
観察小屋の中に残したコナラの木も被害に遭った。今回はこの発見から被害調査が始まった。



木の中に侵食しているカシノナガキクイムシの侵入口部分はこんな感じ

浸食の進み具合は、すぐには伐倒の対象までではなく、始まったばかりの様子だが、対策が急がれる。

(9月8日)



浸食された木には黄色のテープ表示をし、後の対策の目印に。



林内散策路周辺の調査可能な範囲を調べて回る。

確認できた木の位置を地図上に記載しておく。入り口周辺と、観察小屋周辺に集中していた。

=====

(9月14日)



観察小屋木部の防錆塗装(内外面)



同上防錆塗装もほぼ完了



観察小屋内の傾斜解消に向けての盛り土作業



小屋内の盛り土後、今後周囲のゴムシート埋め込み作業を経て、右の写真の囲い位置に木枠の産卵・生育“個室”をつくる予定。



7月に実施したカブトムシ観察会②で子どもたちに成虫を探し出してもらった”旧生育場所“（左）にも、その後この場所で孵化した幼虫が育ってきたので、外していた前面の木枠金網を取付けイノシシ除け

=====

(9月19日)



次回の栗苗木植樹に備え、4株分の穴掘りを先行作業。よくない「神戸地層」の地域では仕方ない地質に苦労しながら完了させる。



1 段上がったテーブル・椅子置場近くに植樹した関係で、駐車場脇にある散水栓からホースと樹脂パイプをつなぎ合わせて灌水ラインをつくる。



林内を這い上がる樹脂パイプ



樹脂パイプとチューブのつなぎ目



灌水成功！  
ここまで下の散水栓からの長さ  
約 30m、落差 5m 程度

=====

(9月27日)



【作業1】 クリ苗 4 株の植樹終了



今回植樹した栗の苗の種類は、「銀寄 2 本」「筑波 1 本」「丹沢 1 本」の 3 種 4 本。  
クリは同じ種類の株では結実しにくいいため異株を挟み、両端に銀寄せとした。



【作業2】 高さが不ぞろいだったテーブルと椅子の高さを調整。



近くに自生している1本のシバグリから拾い集めたクリの実。これも里山の恵みと、何人かで分け合って持ち帰る。今夜はおいしい栗ごはん。